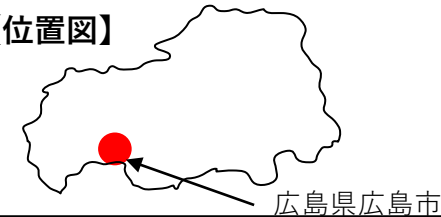


農業未経験者でもスムーズに就農できる新規就農者パッケージの一環として事業を活用

- 広島市は消費地に近いという利点を活かし、コマツナなどの施設葉物野菜の生産が盛んである。
- 市は、他産業並みの所得を確保できる農業経営者を育成する“ひろしま活力農業”経営者育成事業（以下、「活力事業」という。）を平成9年度から実施し、施設葉物野菜での担い手を育成。
- 新規就農パッケージとして、就農の際にハードルとなる①農業技術の習得②就農地の確保③就農施設の整備④就農後の支援を、研修中から就農後まで一貫してサポートする体制を整えている。

【位置図】



取組前

- 就農施設は市の補助事業を活用し農業協同組合が整備した後に研修修了生にリースしていた。
- 物価高騰の影響で施設整備費も高額となっており、それに伴いリース代も活力事業開始当初と比べ約2倍となり、研修修了生の経営を圧迫していた。



取組内容

- 令和7年度に（公財）広島市農林水産振興センター（以下、「センター」という。）が事業実施主体となり、本事業と市の補助金を活用し施設整備を行った。
- パイプハウス3,000㎡、調整棟、かん水施設一式を市内2地区に整備した。



取組後(成果)

- 現在、整備した研修施設で認定新規就農者2名が研修中である。
- 研修修了後は研修で使用した施設を研修修了生に貸出することでスムーズな就農ができる仕組みを整えている。
- 高齢により耕作できなくなり、受け手不在だった農地が解消された。
- 今後も同様の仕組みで市の将来を担う優秀な経営者を育成するとともに、その経営者を核に地域農業・農村の活性化と農地の有効利用を図っていききたい。

【誘致体制】

- 1 研修生の募集、選考、育成研修及び就農施設整備センター
- 2 就農地の確保等
広島市
広島市農業委員会
広島県農地中間管理機構
- 3 就農後の営農支援等
広島県西部農業技術指導所
広島市
広島市農業協同組合
ひろしま農業協同組合
日本政策金融公庫等

新規就農者や研修生の声

- 研修を受けることにより、センターが窓口となって、農地や施設、補助事業などの各種事業がワンストップで受けられるので、就農に係る不安が軽減された。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】 公益財団法人広島市農林水産振興センター
TEL：082-842-4421
E-mail：ninaite@haff.city.hiroshima.jp
HP：http://www.haff.city.hiroshima.jp/index.php